

1 事業実施の方針

【 法人全体 】

これまでに取り組んできた活動が基となり、業務として新たな依頼や相談が増え、これまで以上に、行政機関や他団体、企業、地域等との連携・協働する取り組みの拡大が予想される。また、拠点を置く『御前崎市』や当法人に対して、求められている取り組みが明確になってきていることもふまえ、昨年度取り組んできた事業や活動は継続的に実施し、『NPO 法人 Earth Communication だからこそ』というプログラムやパッケージを体制化させることを目指し、今年度も試験的な取り組みやリサーチを継続的に実施する。より良い活動や連携協働基盤を構築していけるよう、体制強化を図るだけでなく、より広く多くの方に活動の周知を図り、関わってくださる会員の方々の増やしていけるよう、各事業に取り組んでいく。

【 自然楽校事業 】

2024 年度も引き続き、自主事業である『ネイチャーズ』、『アース・キッズ』、『オープンプログラム』に取り組むことで、多くの方が自然や環境に触れ、自然を楽しみ、自然や環境について学ぶ機会の創出を図る。

○ ネイチャーズ： 昨年度、試験的に取り組んできたキッズクラス 海プログラム・里プログラムで得られた記録を活かし、地域の子どもたちを対象に、海に特化した年間プログラム『マリンキッズ』を実施。活動を通して、海への愛着心や海洋環境への意識を育む。定着には時間が必要なため、活動を行いながら、周知を図り、定着を目指す。また、参加する子どもたちの保護者ともコミュニケーションを図り、次年度の活動に活かせるよう、活動への期待や子どもたちへの想いなどについても情報収集を行う。

○ アース・キッズ： 久々生海岸での取り組みを中心とした『うみのモリ』プログラムと、田んぼや竹など里山の自然・環境を活用した『里のめぐみ』プログラムに取り組む。これにより、久々生海岸の海岸環境だけでなく、海をはじめとするさまざまな自然や、「自然・環境・社会」のつながりなどへの、意識と理解を図っていく。

うみのモリプログラムにおいては、昨年度の取り組みに加え、カヤックを活用した海の森を観察する活動を実施することで、視点の違いによる海の森の見え方の違いや、季節の変化による違いを体験的に学んでいただけるよう年間 10 回の活動を実施予定。

昨年度からパッケージ化させ取り組んでいる里のめぐみプログラムにおいては、多くのニーズは無いが、当法人の目標である『海と里山をつなぐ』自然体験活動や環境学習活動の体制化を目指すためにも、継続的に活動を実施。これにより、『自然の循環』への意識と理解を図る。田んぼでの活動は、まずは田植えと稲刈りをプログラムとして実施。竹を活用した活動に関しては、実活動が減る秋冬シーズンに実施。

○ オープンプログラム： コロナ禍が明け、社会や地域の状況の変化による、ニーズの変化がうかがえる。そのため、昨年度に引き続き今年度も、ニーズの把握を目指し活動を継続実施。これにより、次年度以降の活動方針を検討していく。

【 未来にのこす事業 】

2024 年度も、自然や環境の保全を目的とした『ハチドリ action.』と『結び』、自然の中で活動・活躍する指導者の育成に取り組む『インタープリター養成』に取り組む。

○ ハチドリ action.： 久々生海岸とアマモ場の保全を目指す『里海プロジェクト』と、御前崎市内の竹林整備を行う『里山まもり隊』の活動を継続的に実施。

里海プロジェクトでは、『静岡県を代表する環境学習フィールドに』を目標に、海岸の保全活動としてビーチクリーンや陸域の整備を継続的に実施。また、県や国、県内大学、研究機関の皆さんと連携し、より良い環境が保全されるよう協働を行う。これまで連携させていただいている関係団体の皆さまとの連携強化も図ると同時に、新たなつながりや関係づくりにも取り組んでいく。また、昨年度・一昨年度と認証をいただいた「Jブルークレジット」へも再申請を行うだけでなく、環境省が進める「自然共生サイト」への登録も目指す。

里山まもり隊では、これまで活動協力させていただいている正福寺(御前崎市比木地区)の裏山で活動を継続させていただき、その他の活動(アース・キッズや結び、久々生海岸の海浜樹木の育成)とのつながりを生むことで、海と里山のつながりや自然の循環を観える化させていく。

○ 結び： 今年度も、農家さんからお借りしている田んぼを活用し、『田んぼに集まる生きものと共生したお米作り』をテーマに、有機で稲作を行う。昨年度整備した池は継続。池に集まる生きものを観察しやすい環境にするため、池を掘り起こし、田んぼの畦を拡張させ、今年度から改めてプログラム化させていく。プログラムとしては、田植えと稲刈りを実施。今年度の活動の状況をしっかり分析し、次年

度以降の活動につなげていく。

○ インタープリター養成： アウトドアブームとしての流行は下火になる傾向が強まっているが、教育や人材育成として自然体験活動に対する意識の強まりは感じられる。昨年度の試験的な取り組みもふまえ、今年度も6月にNEALリーダー養成講座の実施を計画。NEALインストラクター養成講座の開催は実施しない予定。

【むすびつながる事業】

2024年度も引き続き、さまざまな関係機関の皆さんと連携・協働する『協働Program』への依頼は多くいただいている。また、2024年度より『EG LABO.』や『つどいの広場』についても精力的に活動を行ってきたい。

○ 協働Program： 2024年度も引き続き、御前崎市教育委員会が主催する『御前崎クエスト』、市社会教育課が主催する『海洋体験活動』、市環境課・エネルギー政策課が主催する『環境出前講座』についても継続することが決まっている。御前崎クエストについては、コロナ禍以前に計画していた運営・実施体制を組むことになり、ジュニアプログラムについては、「半日・2部制」活動から「1日・1部制」の活動に変更。その他のプログラムにおいては変更なし。海洋体験活動においても、講師として継続。環境出前講座に関しては、昨年度市内3小学校から、市内全(5)小学校での実施が決定。

新たな取り組みとして、公益財団法人B&G財団の全国指導者会より、自然体験活動における講師の依頼を受ける。対面での講座スタイルでなく、動画講義というスタイルでの講師依頼であるため、担当の方としっかり打ち合わせ・協議を行い、受託を予定している。その他、B&Gインストラクター研修会での講師も依頼予定というお話もいただいている。

さまざまな方々と協働することで、自然体験活動を多くの方に提供できるよう、2024年度もしっかり継続していきたい。

○ EG LABO.： 研修プログラムに取り組むだけでなく、法人会員のコミュニティとして再認識を図り、法人内での人のつながりも盛り上げていきたい。

○ つどいの広場： より広く・多くの方が気軽に自然を楽しめるよう、当法人ならではのイベント(御前崎の海に生息する生きものたちの生態展示)を実施予定。公益財団法人みなと総合研究所「未来のみなとづくり助成」に申請中。実施は11月1~3日を予定。イベントを通して、観光感覚で海をはじめとする自然を楽しんでいただき、自然や環境への意識を育む。また、来場して下さる方々にアンケート調査も実施予定。法人会員を増やすことにつながられ、当法人ならではのイベントにしていけるよう、次年度以降に向けた調査にも取り組んでいく。

2 事業の実施に関する事項

(1) 非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	支出見込額(千円)
自然楽校事業	ネイチャーズ マリンキッズ	通年 毎月1回	御前崎市内	2人	年間合計50名	180
	アース・キッズ (環境学習プログラム)	年間15回	御前崎市 久々生海岸等	5人	参加希望者 年間合計 約200名	780
	オープンプログラム シーカヤック体験等	4月～11月	御前崎市 久々生海岸等	2人	参加希望者 年間合計20名	100
未来にのこす 事業	ハチドリ action. 里海プロジェクト	通年 毎月3～4回	久々生海岸	5人	保全協力者 約300名	100
	ハチドリ action. 里山まもり隊	通年10回	御前崎市内の 竹林	3人	竹林関係者	100
	結び 休耕田を活用した稲作	4月～翌年2 月	御前崎市内の 田んぼ	3名	参加希望約20名 と田んぼ関係者	50
	インタープリター養成	年1回	御前崎市内	2人	参加希望者 約10名	200
むすびつながる 事業	協働 Program 御前崎クエスト ファミリープログラム	偶数月 隔月1回	御前崎市内	3人	市内在住者 約8家族	480
	協働 Program 御前崎クエスト キッズプログラム	年間6回 5, 7, 9, 10, 12, 2月	御前崎市内	3人	市内在住者 約40人	640
	協働 Program 御前崎クエスト ジュニアプログラム	通年 毎月1回	御前崎市内	3人	市内児童 約30人	2,000
	協働 Program 御前崎クエスト グローバルプログラム	通年 毎月3回	御前崎市内	2人	市内在住者 約10名	1,400
	協働 Program 御前崎クエスト ユースプログラム	奇数月 隔月1回	御前崎市内	2人	市内在住者 約20人	450
	協働 Program 御前崎 環境出前講座	市内小学校 5 校 各校1回	市内小学校 5校	2人	対象小学校・ 学年の児童	200
	協働 Program 海洋体験活動指導	各校1回 計5回	御前崎市内の 海	2人	対象小学校 在校生	250
	協働 Program B&G 全国指導者研修	年間5回相当	B&G 全国指 導者会の業務 により	2人	B&G に所属する 全国の指導者	200
	EC LABO	毎月1回	御前崎市内	2人	参加希望者	50
	ホームページや SNS の 管理運営	随時	法人事務所	2人	不特定多数	50

- * 1 設立（合併）の初年度と翌年度について、それぞれ別葉で作成する。
- 2 初年度分は、申請予定日からおおむね4か月後以降について作成する。
- 3 2事業の実施に関する事項については、事業ごとにそれぞれの項目を記載する。
- 4 2(1)の受益対象者の範囲及び予定人数は、具体的に記載する。
- 5 2(2)は、その他の事業を行わない場合には記載不要。
- 6 定款に掲載している事業で、計画書に掲載しないものについては、その理由を記載する。